

新しい公共支援基金事業の実施状況について

団体名： 都城河川水質改善プロジェクト協議会

1. 実施状況

事業名	都城河川水質改善プロジェクト
実施状況	<p>(1) 接触材設置による流水部での水質改善対策</p> <p>1. 既に接触材が設置されている事例について資料調査と現地でのヒアリングの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鹿児島県肝属川の先進地視察を行いました。 実施日：平成 23 年 9 月 6 日(火) 場 所：肝属川のひも状接触材の設置地点 鹿児島県鹿屋市内のひも状接触材の設置地点 2 カ所を先進地視察として大隅河川国道事務所河川管理課長の小林さんにご案内いただいて、協議会委下会長と事務局で設置状況を確認して来ました。大隅河川国道事務所では肝属川清流ルネッサンスⅡの取り組みとして設置されて、維持管理は行っていないとのことでした。設置方法は、アイボルト工法でした。 <div data-bbox="480 891 1142 1128"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 愛知県阿久比町の先進地視察を行いました 実施日 平成 23 年 9 月 27 日(火) 場 所 阿久比町のひも状接触材の設置地点 愛知県阿久比町内のひも状接触材の設置地点 5 カ所を先進地視察として TBR 株式会社の山下さんにご案内いただいて事務局で設置状況を確認して来ました。阿久比町では約 10 年前に設置されて、TBR 社が維持管理を 1 年 1 回行っているとのことでした。設置方法は、鉄筋工法とアイボルト工法の二種類を見ることができました。設置個所には説明の看板が立ててありました。 <div data-bbox="411 1525 1417 1762"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 霧島市の先進地視察が行われました 実施日 平成 23 年 9 月 29 日(木) 場 所 都城市役所南別館 3 階 第 2 会議室 霧島市の生活排水対策推進員の先進地視察として都城市と当協議会に受け入れの依頼がありましたので、お引き受けしておりましたが、9 月 29 日に 15 名の方々が霧島市環境衛生課とお出でになりました。まだ当協議会は取り組みを開始したばかりですので、河川水質改善の取り組みをスライドを使って説明した

後、意見交換をしました。



2. 都城市中心市街地の対象地区での接触材の設置方法の検討

- ひも状接触材の選定部会を開催しました

開催日 平成 23 年 9 月 29 日 (木)

場 所 都城市役所南別館 3 階 第 2 会議室

ひも状接触材の設置地点を検討する選定部会を開催しました。選定は、7 月 12 日に現地の状況を確認した 10 流路を候補として、事務局で作成した「ひも状接触材の設置候補地の評価表」をもとに、設置の容易さ、維持管理の容易さ、設置効果、適合度を検討しました。その結果、候補地を 4 カ所程度に絞り込むことができました。最終判断は、10 月 4 日 (火) の現地調査の後で行うことになりました。



- ひも状接触材の設置地点の現地調査を行いました

実施日 平成 23 年 10 月 4 日 (火)

場 所 ひも状接触材の設置候補地点

ひも状接触材の設置地点を選定する部会の皆さんと部会で絞り込んだ候補地を重点的に見て回りました。あいにく雨が降っていたため、水路を流れる水量が多少多いようでしたが、設置地点を概略決めることができました。



3. 都城市中心市街地区の排水路系統から設置個所を選定して、ひも状接触材の設置

- ひも状接触材の設置地点を決定し、都城市役所に設置工事の申請書を提出しました。10 月 28 日 (金)

- ひも状接触材の設置工事の許可が出ました。11 月 1 日 (火)

占用場所及び占用期間

志比田排水樋管 2011 年 11 月 1 日から 2016 年 10 月 31 日まで

小鷹雨水幹線 2011 年 11 月 15 日から 2014 年 3 月 31 日まで

- ひも状接触材の設置工事の準備を進めています
設置工事予定期間 1月中旬～2月中旬
 - 4. 設置した全ての接触材について、ゴミ除去を日常的に行い、堆積土砂の払い落とし等の維持管理を定期的に行う
 - 設置工事以降を予定
- (2) 各家庭での生活排水の負荷削減対策
1. 接触材を設置した地区の住民や企業を対象とした河川水質改善の学習会の開催
 - 3月予定
 2. 取り組みの状況を紹介する説明パンフレットと学習用DVDの作成
 - 準備を進めています。
 3. 洗浄液を試作し参加者に配布
 4. 都城市中心市街地区において、地区住民や企業が連携して洗浄液を作成
 5. 作成した洗浄液の上澄み液を地区住民や企業に配布
 - 1月中旬以降予定
- (3) 水質モニタリング
1. 接触材を設置した流路と大淀川の志比田橋地点の上下流の水質観測箇所において、水辺環境指標と河川水質モニタリング調査を毎月実施
 - 12月中に実施予定
 2. モニタリング調査結果をもとに、水質改善効果の経時変化を把握する
 3. 取り組み状況を自己評価し、協議会においてモニタリング調査方法の見直し案を作成して実施
 4. モニタリング調査結果の定期的な公表
 - (3)1以降に予定
- (4) 取り組みの広報
1. 接触材を設置した地区の住民や企業などに当該事業の取り組みへの参加を呼び掛ける広報ポスターを作成し、地区内に掲示する
 2. 広報誌への掲載や都城市中心市街地区での説明パンフレットと学習用DVDの回覧などによって広報し、取り組みへの参加を呼び掛ける
 - 1月下旬予定
 3. 広報パネルを作成し、パネル展示会を開催する
 4. パネル展示会において、説明パンフレットと作成した洗浄液を配布して、都城盆地内他地区の住民・企業・団体等に対して水質改善を啓発する
 - 2月予定
 5. 上流域にあたる三股町の住民・企業・団体等に対して、当該事業の取り組みの開始を紹介する説明会を開催する
 - 3月予定

新しい公共支援基金事業の実施状況について

団体名： みやざき地域再生協議会

1. 実施状況

事業名	地域での防災・まちづくり教育を基本にした地域コミュニティの再生事業
実施状況	<p>9月 実施計画 9/28 宮崎市立小中学校長(小48、中25)に「地域での防災・まちづくり教育についての調査」アンケート配布～11月全件回収、集計中</p> <p>① コミュニティ防災カフェの設置 9月設置準備。 10月「南駅前ふれあいサロン」内に設置(10月～利用者数55人) 展示や陳列の内容：気象庁、企業やNPOの取組紹介、ハザードマップ、標高図、非常持出品買い物ゲーム、パソコンでの情報提供など</p> <p>② 移動コミュニティ防災カフェの設置 計画3か所 11/3 みやざき健康ふくしまつり(参加者300人) 宮崎市内ショッピングセンター(1～2月予定)</p> <p>③ 防災・まちづくり教材の開発、作成 11名に執筆依頼(宮崎大学、公立大学)、12/10 原稿締切、デザイン進行中</p> <p>④ 防災手帳(もしものときに役立つノート)の企画、作成 コンテンツ作成中</p> <p>⑤ 地域住民に対するベーシック講座の実施 計画3回講座を3か所 【講演会】 ・街中>11/27 恒久小学校(講師:村上啓介、参加者47人[保護者、教員、児童]) ・合同>10/20 オルブライトホール(講師:村上、参加者約300人[教員等]) ・山側>12/17 去川小学校予定 【災害図上訓練】 ・街中>10/11 小戸小学校(同校体育館、講師:市教委、国交省、参加者34人[教員、地域諸団体]) ・海側>10/22 潮見小地域(同校体育館、講師:村上、参加者63人[小5・6年生、保護者、自治会、教員、消防]) ・海側>10/27 木花小5年生(同校体育館、講師:村上、参加者72人[児童、教員、自治会]) ・山側>去川小学校(2月予定) 【サバイバルキャンプ】 海側>11/8 木花小5年生宿泊学習(県立青島青少年自然の家、講師:当団体、参加者61人[児童、教員])</p> <p>⑥ 防災イベントの開催 3か所 11/27 恒久小学校：こどもと大人の防災プログラム(ハイゼックス非常食づくり、廃油ろうそくづくり、防災こどもクイズ、非常持出品買い物ゲーム、シール貼り防災アンケート、事業紹介パネル、参加者100人[幼児、小学生、親、教員]) 12/17 去川小学校予定</p>

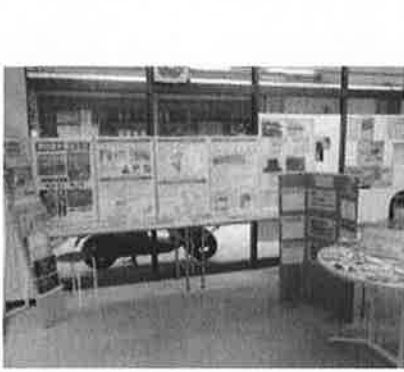
新しい公共支援基金事業の実施状況について

団体名：みやざき地域再生協議会

2. その他

事業の様子が分かる写真、新聞等の掲載記事

■コミュニティ防災カフェ（南駅前ふれあいサロンに設置）



(左) 12/7 展示の様子 (中) 12/3 宮日掲載記事 (右) チラシ

■移動コミュニティ防災カフェ
◆11/3 みやざき健康ふくしまつり
防災クイズなどの様子



■地域住民に対するベーシック講座
◆講演会 10/27 恒久小



■防災・まちづくり教材の開発、作成
次のようなページレイアウトで原稿依頼中（文章・図はダミーです）。

◆災害図上訓練 (10/22 潮見小)

(左、中) 訓練の様子を防災カフェ掲示用パネルに作成 (右) 11/23 宮日掲載記事

みやざき地域再生協働会は
市内各地域の方々と連携して
災害図上訓練を
実施しています。

地域の子どもとおとなが体育館に集まって
訓練開始です。

最後に、地産物生
をシミュレーション
しました。

次に、宮崎大学工学部環境学の
村上善介先生のお話で、
地震や津波について学びました。

さあよいよ、グループで白地図に書き入れます。

「宮崎市避難所」を見てー 小学校中町並みの標高を
確認しました。

小学生
自治会
町内会
参加者の
みなさん
ボランティア
女性
男性

最後に、「気づいたこと」「もっと知りたいこと」を
グループで発表しました。村上先生の質問もありました。

ご参加ありがとうございました。



◆サバイバルキャンプ 11/8 木花小 (県立青島青少年自然の家) (防災カフェ等掲示パネルに作成)

サバイバルキャンプ

小学生が避難生活を想像して役立つものをつくりました。

【想定】集団で避難生活をするとき、準備え、
トイレ用の囲いがあるといいわ、

【材料・道具】段ボール箱 (再利用)、ガムテープ、
はさみ、カッターナイフ

【想定】暗い夜の避難生活を想像して、灯りを作ろう。
【材料・道具】歯肉 (食用肉)、食用油の紙容器、紙コップ、卵なども

■防災イベント 11/27 恒久小バザー
子どもと大人のプログラム



防災カフェ記事11/27朝日新聞



運営委員会の開催経過と今後のスケジュールについて

- 平成23年3月17日 第1回運営委員会
- (1) 新しい公共支援基金事業の概要及び運営委員会の位置づけ
 - (2) 基本方針及び事業計画について
- 6月24日 第2回運営委員会
- (1) 公募事業審査
 - ① 寄附体制整備事業
 - ② 寄附文化醸成事業
 - (2) 基本方針及び事業計画における成果目標について
- 6月28日 第3回運営委員会
- 公募事業審査
 - ① 融資利用円滑化事業
 - ② NPO等財政・運営基盤強化事業
- 7月5日 第4回運営委員会
- 6日 ○ 公募事業審査
新しい公共推進モデル事業
- 8月30日 第5回運営委員会
- 公募事業審査
NPO等財政・運営基盤強化事業
- 12月20日 第6回運営委員会
- 平成23年度事業の進捗状況について
- 平成24年3月下旬 第7回運営委員会
- 平成24年度において継続する事業の審査
 - 平成24年度予算及び新規公募について
- 5月下旬 第8回運営委員会
- ～6月上旬 ○ 平成23年度事業の評価
○ 平成24年度新規公募事業の審査